

青少年育成部の活動の一部です。
これ以外にもおこなっています。

夜空をみよう

シビックセンター科学館の方々とボランティアの方々を講師に、青少年育成部による子ども講座を開催しました。コロナ感染症状況下にあり、この二年間実施できませんでした。が、保護者を含め約四十名の参加で行うことができました。

初めに、シビックセンターの方の講話を聞き、その後外に出て月・木星・土星を観測しました。とても大きな望遠鏡で月を間近に感じ、目では見ることのできない土星の輪、木星に子どもたちは興奮しているようでした。

保護者の方も大変興味を持っていたようでした。



十月二日



小さな生物の世界をのぞいてみよう

七月二十九日

石川善憲コミュニティ推進会長を講師に、小学生二十名でコロナ対策をして開催しました。初めにスライドで説明を受けハチ、チョウ、クモ、ハエなど身近な生物の話から、医学に役立つ虫や、農業に利用する虫などがいることを知り、とても勉強になりました。その後配られたルーペや顕微鏡で生物を観察しました。みんな見たこともない世界に夢中でした。夏休みの自由研究にも役立つことでしょう。



スライドで説明



ルーペで観察



顕微鏡をのぞいて

粘土の陶芸教室

七月十七日

コロナ対策で開けた窓から熱風が吹き込む暑さ厳しい中、講師に木村統先生（ワークスたんぼぼ理事長）を迎え、小学生三十名で開催しました。先生の説明を聞き、手渡された粘土を手でペタペタ、麺棒でゴロゴロしながら伸ばし土台の型取りをしたら、次はカラー粘土で模様となるハートや星、飛行機や動物などをクッキー型で抜き土台に埋め込みました。それを底が丸くなるようボウルに入れて完成を待ちます。出来上りが楽しみです。



粘土ペタペタ



模様の型抜き